

再評価結果（平成21年度継続箇所）

担当課：道路局 有料道路課

担当課長名：上野 進一郎

事業名	山陰自動車道 鳥取益田線 <small>しんしん</small> 穴道JCT～ <small>いづも</small> 出雲		事業区分	高速自動車国道	事業主体	西日本高速道路(株)
起終点	自) 鳥根県松江市穴道町 至) 鳥根県出雲市知井宮町			延長	1.8 km	
事業概要						
山陰自動車道鳥取益田線は、日本海沿線の主要都市を相互に連絡し、山陰地方の発展に資する路線である。						
H9年度事業化		H7年度 都市計画決定		H11年度用地着手		H13年度工事着手
全体事業費		649億円		事業進捗率		79%
計画交通量		約3,300台/日 ~ 約5,000台/日				
費用対効果	B/C	総費用	(残事業)/(事業全体)	総便益	(残事業)/(事業全体)	基準年
分析結果	(事業全体) 1.6	211/744億円		1,166/1,166億円		平成20年
(有料)	(残事業) 5.5	事業費：121/654億円 維持管理費：90/90億円		走行時間短縮便益：1,013/1,013億円 走行費用減少便益：113/113億円 交通事故減少便益：40/40億円		
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施						
交通量変動 : B/C = 6.1 (交通量 +10%) B/C = 5.0 (交通量 -10%)						
事業費変動 : B/C = 5.9 (事業費 -10%) B/C = 5.2 (事業費 +10%)						
事業期間変動 : B/C = 5.6 (事業期間 -1年) B/C = 5.3 (事業期間 +1年)						
事業の効果等						
<ul style="list-style-type: none"> 円滑なモビリティの確保(第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる) 国土・地域ネットワークの構築(当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する) 個性ある地域の形成(IC等からアクセスが向上する主要な観光地が存在する) 他13項目に該当 						
関係する地方公共団体等の意見						
主要都市を結ぶ山陰道は、鳥根県の発展、自立のため必要不可欠な道路である。その中でも本区間は、最も人口集積・産業集積の進んでいる地域を通過する区間であり、極めて重要であることから、鳥根県知事や沿線の市町長からなる促進同盟会より整備促進の要望を受けている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等						
平成17年センサスデータをベースにした新しい将来交通需要見直し、費用便益分析マニュアルの改定がなされた。						
事業の進捗状況、残事業の内容等						
平成21年度の開通に向けて工事全面展開中である。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等						
供用予定は平成21年度であり、現在用地取得が完了し、工事全面展開中である。						
施設の構造や工法の変更等						
新技術・新工法や現地の状況変化も確認しながら積極的にコスト縮減を図っていく。						
対応方針 事業継続						
対応方針決定の理由						
以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わっておらず、事業実施の目途が立っている。						
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものを。